

仙台南部流域治水出張所だより～♪
あぶたん つうしん

267 Go!

令和8年5月7日撮影
（亘理町逢隈田沢 阿武隈川河川敷）

発行日 ： 令和8年5月28日
発　行 ： 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 仙台南部流域治水出張所
〒989-2441 岩沼市館下1丁目2番9号　☎0223-22-2801 FAX:0223-22-2802

梅雨や台風、集中豪雨により河川が増水しやすくはん濫などの災害リスクが高まる期間のことを『出水期』といいます。阿武隈川の出水期は６／１～１０／３１です。

仙台河川国道事務所では、出水期に入る前に、堤防の安全点検や河川増水時に対応する訓練を行っています。流域治水力を高め、災害を未然に防ぎ命を守れるように、いざという時に備えます。

4／22　河川状況把握訓練を行いました



災害の発生が予測されるときや、実際に発生したときに行う緊急時の河川巡視の訓練です。
具体的には ・河川の水位が『はん濫注意水位』に達する恐れがあるとき
・震度5弱以上の地震を観測したとき　などに緊急巡視を行います。



「災害発生時には東北建設業協会の各団体と
復旧活動や地域支援を速やかに実施する」という
協定内容のもと、民間の建設会社等に緊急時の
河川巡視にご協力をいただいています。







出張所では、巡視員の安全に留意しつつ、
必要な情報を収集し、状況に応じて関係
機関と連絡をとります。

出張所内

いざという時、迅速に必要な情報を集め報告するための、一連の実地訓練なんだっちゃ！

出水期前の堤防モニタリングを行いました

**堤防モニタリングでは、河川堤防を歩いて目視点検を行います。
継続的・定期的に堤防の状態を観察することで、要注意箇所の把握や、過去に実施した補強工事や技術が実際に機能しているかを確認することができます。**

出水期を控えた4・5月に、出張所管轄の堤防全32．4kmを4日間かけて点検し、緊急に補修を要する箇所がないことを確認しました。




舗装の亀裂が深く・広く・長くなっていないかを
確認しています


キツネが餌を探すために掘ったと見られる穴を測っています
→計測後、砂で埋めて補修しました



令和8年度の草刈りマップと工程表ができました

出張所HPにも掲載中

草刈りマップ



除草時期につきましては、天候などの状況により多少前後することがございます。

本年度も引き続き地域の皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

令和８年５月２９日　防災気象情報が大きく変わります

気象庁が発表する大雨警報などの防災気象情報は、市町村が避難情報を発令したり、住民が自主避難の判断をする際の参考となる非常に重要な情報です。しかしこれまでの防災気象情報は、情報名称が統一されておらず、避難するタイミングが分かりづらいという課題がありました。

５／29運用開始の新しい防災気象情報では、「レベル3大雨警報」など警戒度を数字で表示することで、レベルの数字を見聞きしただけで現在の気象情報がどのような防災行動をとるべき段階にあるのかをわかりやすくしています。

※【河川氾濫情報】宮城県では阿武隈川含む11河川のみ対象。支流含む中小河川の氾濫情報は、『大雨情報』で地域名のみ発表(河川名は示されません)。

気象状況	気象庁等の情報				警戒レベル	住民がとるべき行動	市町村の対応
	※河川氾濫	※大雨	土砂災害	高潮			
	1級河川などの大きな河川の氾濫	低地の浸水や大河川以外の氾濫	急傾斜のがけ崩れや土石流	台風時など			
災害の切迫-発生	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	5	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保 ※必ず発令される情報ではない
	＜警戒レベル4までに必ず避難！＞						
2時間~0時間程度前	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨警報	レベル4 土砂災害警報	レベル4 高潮警報	4	危険な場所から全員避難	避難指示 (災害対策本部設置)
数時間~3時間程度前	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	3	避難に時間を要する人の避難	高齢者等避難 (避難指示の発令を判断できる体制)
半日~数時間前	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	2	避難行動を確認 (避難場所・避難ルート)	(高齢者避難等の発令を判断できる体制) (連絡要員を配置)
数日~約1日前	早期注意情報(警報級の可能性)				1	災害への心構えを高める	(職員の連絡体制を確認)

以下の気象庁資料を加工して作成
気象庁ホームページ https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/basai/keiha-update2026/index.html
気象庁パンフレット「大雨や台風に備えて」
https://www.jma.go.jp/jma/kishou/know/basai/keiha-update2026/pdf/info2026_textbook.pdf

火山噴火や地震といった予報の難しい災害と比べると、避難までの時間に比較的余裕があるといえる大雨による災害。しかし、大雨ははん濫・土砂災害・低地での浸水など複合的な災害を引き起こし、甚大な被害をもらたします。警戒レベル4までの避難が大事

「いま」自分が危ないのかを知ることができる
気象庁による防災情報サービス
キキクルを活用しよう！
大雨による「洪水」「浸水」「土砂災害」の災害危険度が、地図上でほぼリアルタイム表示されます。